

## 第1学年 学級活動指導案

## 1 題材名 生命の誕生 ～一人一人が命の主人公～ ((2)-イ 自己及び他者の個性の理解と尊重)

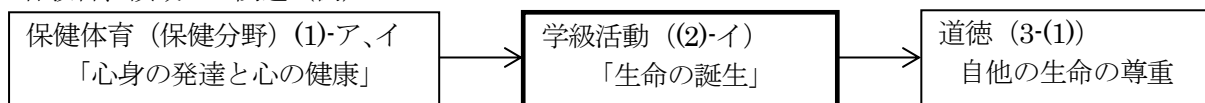
## 2 題材について

思春期は、体の各器官が急速に発育・発達する時期である。また、中学1年生の保健学習では、「性機能の成熟」「性とどう向き合うか」「欲求とストレスへの対処」など思春期の心身の変化について学習する機会もあり、一人ひとりが自分自身の心や体の成長に向き合う時期でもある。

本題材では、胎児の成長や出産の様子を通して、自分自身の成長を振り返るとともに自他の生命を大切にしようとする気持ちを育てることをねらいとしている。

指導にあたっては、大人への成長過程である思春期の心身の様子に触れながら、生命誕生の学習を通して、誕生する前から出産を経て現在に至るまで自分自身の「生きる力」がとても重要であることや生命の尊厳について一人ひとりに考えさせ、自他の生命を大切にして尊重しあう心情を育てる。

## 3 各教科、領域との関連 (例)



## 4 指導計画

	教科等	主な学習活動
事前	朝の会	・「からだと心のアンケート」を実施し、実態を把握する
本時	学級活動	・保健学習「思春期の心身の発達」について振り返りをする ・生命誕生の様子を知る ・自分へのメッセージを書く
事後	学校行事	・外部講師による講演（命にかかわる内容）を聞く

## 5 本時の学習

(1) 目標 胎児の成長や出産の様子についての学習を通して、誕生する前からの生命力の強さや「生きる力」の重要性を知り、自他の命を大切にしようとする気持ちを育てる。【思考・判断・実践】

## (2) 展開

	学習活動 ・ 予想される反応	○教師の支援 ◆評価【方法】	資料等
導入 10	1 本時の学習内容とめあてを確認する。	○保健の学習内容「受精と妊娠」を想起させ、大人の体に近づいていることへの意識を高める。 ○妊娠から出産の過程を通して、命について考えていくことを説明する。 一人ひとりが「命」に向き合う時間になるよう、教師が「あなたはすごい力で生まれてきた」を朗読する。	「あなたはすごい力で生まれてきた」
展開 25	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">生命誕生の様子を知り、命の大切さについて考えよう</div> 2 子宮内での胎児の成長の様子や獲得していく能力、出産時の赤ちゃんの様子を知る。 *イラストを見ながら発達の様子を確認する ・生きるために母親も胎児も一生懸命頑張っている ・赤ちゃんの成長の様子を初めて知った ・お母さんありがとう	○必要に応じて、養護教諭 (T2) が説明をする。 ○胎児は、母親の力を支えにしながら、自ら生きる力を獲得していること、母親は、胎児のために自らの生活も調整していることを押さえる。	胎児の成長を示すイラスト

終末 10	3 3. DVD (生命誕生) を見る。 ・赤ちゃんはすごい力をもっている ・生まれるためには自分の力も大切だったんだ	○母体内での成長から誕生までの様子のまとめをする。 ○出産とは、母親の産もうとする力に加えて、胎児自身(あなた)が生まれようとする力(生きる力)も必要だということを押さえる。	DVD (生命誕生)
	4 本時の授業を振り返り、これからをどのように生活していくか考える。 ・自分の命だけでなく、友達も大切にしていこう ・これから〇〇を大切にしていきたい ・目標をもって精一杯生きていこう	○親への感謝だけでなく、頑張って生まれた自分への肯定的なメッセージをもったり、これからの目標につなげたりするような言葉かけや支援ををする。 ○数名の生徒の感想を紹介し、考えを共有する。 ○自分の命だけでなく、全ての人の命が母親の命まで支えながら生まれてきた尊いものであること、自他の命を大切に思える行動がとれるようになってほしいという教師の願いを伝える。 ◆生命の尊さや生きる力について考えこれからの目標を決めることができる。 【ワークシート】	ワークシート

イラストの説明内容

	胎児	母親の様子
妊娠前期 (0~15週)	(8週) ① 目・耳・口がほぼ完成する。 ② 心臓の活動がはっきりする。 ③ 筋肉や骨が形成され、動きが見られる。	・「つわり」など新しい生命の誕生に備えた反応や準備が始まる
妊娠中期 (16~27週)	(16週) ① 羊水の中で、手足を動かす。 (20週) ① 羊水を飲み、排尿が始まる。 ② 聴覚が発達し、音に反応。 動きが活発になり、母親は胎動を感じる。	・胎児に、より良い環境を与えるよう生活する。(喫煙、飲酒、ストレス等の回避) ・胎動を感じる
妊娠後期 (28~40週)	(28週) ① 脳が発達し、体の機能をコントロールする。 ② 眼球が動き、時々目を開ける。 ③ 指しゃぶり、あくび、肺呼吸の練習をする。 (32週) ① 毛髪や皮下脂肪が増え、しわが減る。 ② 苦みや甘みの区別ができるようになる。 ③ 頭が下向きになる。 (40週) ① 子宮が収縮をくり返し、赤ちゃんも頭で下に向かって押すことで、子宮口が広がる。 ② からだをネジのように回転させながら、産道を進む。 頭の骨を変形させて、ゆっくりとくぐり出る。 ③ 助産師が赤ちゃんの頭と肩に手を添える。 あとは胸・腰・足がつるりと出る。 ④ 子宮の収縮でへその緒への酸素供給はストップし、赤ちゃんは産声をあげ、肺が活動を始める。	・転倒したり、打撲したりしないよう注意して生活する  ・破水が起こり、分娩の準備をする ・陣痛(子宮の収縮)が起こる ・へその緒を切断し、乳児の産声、肺呼吸を待つ